



### 2/14 230人の児童生徒を表彰 十和田市教育奨励賞表彰式

市民文化センターで「平成26年度十和田市教育奨励賞表彰式」が開催され、文化・芸術、スポーツの分野で、県大会1位や東北大会3位以内、全国大会上位入賞などの優秀な成績を取った市内在住の児童生徒230人が表彰され、米田教育長から出席者に対し、表彰状が手渡されました。受賞者を代表し、小川航大くん（東中・3年）は「支えてくれたかたへの感謝の気持ちを忘れず、一つ一つ目標を達成していきたい」とあいさつしました。



米田教育長（写真右）から児童生徒一人一人に表彰状が手渡されました

### 2/6 巨大雪像や冬花火などで十和田湖の冬を満喫！ 十和田湖冬物語 2015

十和田湖畔休屋特設イベント会場で、北東北最大級の雪祭り、「十和田湖冬物語」が開催されました。オープニングセレモニーでは、小山田市長ら関係者により、陸上自衛隊八戸駐屯地の皆さんが作成したメイン雪像「ねぶたとなまはげ」の点灯式などが行われ、オープニングを華々しく飾りました。イベント期間中は、家族連れなど多くのかたが訪れ、夜空に打ち上がる冬花火などを楽しみました。



メイン雪像「ねぶたとなまはげ」が関係者の手により点灯され、冬物語の開幕を告げました

### 2/11 みかちゃんがこれまでのB-1グランプリを紹介 まちおこし講演会を開催

まちおこし講演会「みかちゃんが見てきたB-1グランプリ開催地のあんなこと・こんなこと」が、市民交流プラザで開催されました。トリオ★ザ★ボンチョスの一員でおなじみの中島美華さん（みかちゃん）が講師となり、これまでのB-1グランプリを、撮りためた写真などを交えて紹介しました。会場を訪れた約160人の参加者は、これまでの開催地のおもてなしに感心した様子を見せていました。



「十和田大会では、訪れたかたに皆さんの愛を見せてください」と話す中島さん



三村県知事に登録の喜びを報告。知事も「登録はうれしいこと、販路の拡大につなげたいですね」と話しました

### 2/4 登録の喜びを青森県知事に報告 「十和田湖ひめます」が地域団体商標登録

十和田湖で漁獲されているヒメマスのブランド化の一環として、1月に「十和田湖ひめます」が、特許庁から地域団体商標に登録されました。登録を受け、小山田市長と十和田湖増殖漁業協同組合の小林義美組合長が青森県庁を訪れ、三村申吾青森県知事に商標登録の喜びを報告しました。小林組合長は「登録にふさわしい十和田湖ひめますを提供し、地域経済の活性化につなげたい」と話しました。

### 2/8 市ゆかりの8人が観光振興、企業誘致に一役 新たな観光大使、企業誘致支援大使を任命

市では、10組目の「十和田奥入瀬観光大使」として、演歌歌手の近江綾さんを任命しました。また、今年度から始まった企業誘致に関する情報提供などを目的とする「企業誘致支援大使」として、東京十和田会の小又昇会長ら7人を任命しました。アルカディア市ヶ谷私学会館で行われた第30回東京十和田会において、会に参加した4人に対し、小山田市長から委嘱状が手渡されました。



十和田奥入瀬観光大使 近江綾さん 企業誘致支援大使（右から）中野渡利八郎さん、中野渡うめさん、小又昇さん

### 2/2 奥入瀬・十和田湖のPRに！ 市オリジナルのナンバープレートを交付

市制施行10周年を記念し、作成した市オリジナルのナンバープレートの交付が始まりました。交付初日の2月2日には、市役所本館1階ホールで交付式が行われ、交付第1号となった山一清一さんに対し、小山田市長から真新しいナンバープレートが手渡されました。山一さんは「ナンバープレートは乙女の像が描かれている素敵なデザインです。十和田のPRにつながるのでは」と話しました。



1番のナンバープレートを手にする山一さん（写真左）。乙女の像が印象的なデザインです

### 2/8 伝統芸能の歴史と文化を継承 十和田市伝統芸能まつり

伝統芸能の歴史と文化の継承を目的に、市民文化センターで「第25回十和田市伝統芸能まつり」が開催されました。南部駒踊立崎保存会や大不動鶏舞保存会など市内7団体の他、ユネスコ無形文化遺産に登録され、国の重要無形民俗文化財の早池峰岳神楽保存会（岩手県花巻市）が招待されました。各団体は地域で受け継がれている伝統芸能を披露し、会場から大きな拍手が送られました。



早池峰岳神楽保存会による「天孫降臨の舞」。迫力ある演舞を披露し、観客を魅了



小野寺委員長は、自作の紙芝居を使い、雪中行軍を行った2つの連隊の状況を分かりやすく話しました

### 1/30 八甲田雪中行軍と深持小学区のかかわりを学ぶ 深持小で八甲田雪中行軍のお話会

郷土を理解し、先人の思いを受け継ぎ、伝承しようとする心を養うことを目的に、市立深持小学校（苦米地庸子校長）で4・5年生14人に対し、「八甲田雪中行軍のお話会」が行われました。市教育委員会の小野寺功委員長が講師を務め、雪中行軍を成し遂げた弘前歩兵第31連隊には、市内増沢地区の住民7人が案内人となっていたことなどを話し、雪中行軍の出来事から、事前準備や情報収集、集団行動の規律の大切さなどを伝えました。